

# プリントマネジメント会社が日本に誕生

帆 風

## 英企業と合併会社

### 30-40%のコスト削減を確約

（帆風）東京・新宿区、犬養俊輔社長は十一月一日、イギリスの印刷会社TPF社（ロンドン、ステイブン・P・ブランドル代表）と合併会社「シナジーコミュニケーションズコーポレーション」を設立、プリントマネジメント事業に本格参入する。プリントマネジメントとは大手顧客企業で派生するあらゆる印刷発注業務を一括して請け負うことでコスト削減を約束するビジネスモデルのこと、同社では三〇〜五〇%のコスト削減を目指すとしている。犬養社長は、「五〜七年後は日本にプリントマネジメントが浸透すると見込んでいる。将来プリントマネジメント会社に使われる（下請けに甘んずる）前に、自らプリントマネジメント会社になるべくノウハウを蓄積したい」と述べている。

プリントマネジメントの発注することで、顧客に大幅なコスト削減を約束する。また印刷の知識に長けたスタッフが顧客企業に派遣し発注を代行するため、顧客企業は煩雑な発注業務から解放され、コア事業に専念できる。物流・在庫管理も請け負うため、在庫の最適化が図れる点も顧客のメリットだ。

（帆風）では数年前からプリントマネジメントのビジネスモデルに着目、昨年からは視察団を現地に派遣、今年二月にはプリントマネジメント事業部を立ち上げるなど導入に向け始動していた。そして今回、すでに欧米に提携先を持ち、さらなるグローバル化を模索していたイギリス・プリントマネジメント会社大手のTPF社との思惑が一致し、日本におけるプリントマネジメント会社が誕生した。



会見する犬養氏（左）とブランドル氏（右）

新会社「シナジーコミュニケーションズコーポレーション」は帆風が五〇〇〇万円、TPFが一〇〇〇万円を出資する。利益は平等に還元、帆風はTPFから無償でノウハウとシステムを提供、顧客である外資系企業の紹介を受ける。代表には犬養社長が就任、本社は帆風本社ビル六階におき、従業員は両社から

六月七日に神奈川県 六歳。昭和三十九年、二重久正次氏（神奈川県印刷工組副理事長、㈱ニューアイ社長）の受賞記念祝賀会が十月四日、相模原市のホテルラポール千寿閣で行われ、組合・会社関係者、友人など約百三十人が受賞を祝った。

重久氏は昭和十六年一月に商店の販促支援を重久氏に依頼した。昭和四十八年、川原印工組副理事長に就任し、組織の充実・強化に大きく貢献した。

重久氏は「今日あらたに重久さんとは今一番開保津昭彦神奈川県印刷工組常務理事が記念品を贈呈した。重久氏は「今日あらたに重久さんとは今一番開保津昭彦神奈川県印刷工組常務理事が記念品を贈呈した。」と述べた。



### 重久氏正次氏ニューアイ社長が 県民功労賞を受賞

重久氏は「今日あらたに重久さんとは今一番開保津昭彦神奈川県印刷工組常務理事が記念品を贈呈した。」と述べた。

また犬養社長は、「ある大手企業を調査したところ、例えばカラーコピーでも価格が一円五〇銭か

ら七円五〇銭と価格がまちまちで（適正価格で発注しづらい）、ムタが多い。また異なる部署で同じDMを打ったり、決算時に在庫を大量に処分するケースなどもある。われわれは企業を介さない分コストが省けるなどのメリットを受けたい」と強調。また協力会社に対しては、「コスト圧力がかかるのではなく、営業を介さない分コストが省けるなどのメリットを受けたい」と述べた。